

# 日本語能力試験N1 「合格体験記」

～努力は裏切らない～

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科2年生

ピョー ヤイー モン カイン

## 「介護福祉士の勉強と両立してつかった N1 合格」

私は留学生活の中で、日本語能力試験 N1 合格を大きな目標の一つとして勉強してきました。しかし、介護福祉士の資格取得に向けた授業や実習があり、十分な勉強時間を確保することは簡単ではありませんでした。特に実習期間中は体力的にも精神的にも大変で、勉強を続けることが難しいと感じることもありました。そのため、限られた時間をどのように使うかを常に意識しながら学習を進めました。

勉強方法としては、まず公式の過去問題集を購入し、試験の形式や出題傾向を理解することから始めました。また、インターネットや動画を活用し、文法や語彙の復習を行いました。移動時間や空き時間には単語アプリを使い、毎日少しでも日本語に触れるよう心がけました。後 YOUTUBE などで、日本語で説明した日本語能力試験対策の動画を視聴したり、本学の日本語能力試験対策授業などに出たりしました。

勉強時間は、平日は介護福祉士の勉強後に 1～2 時間、休日は 3～4 時間ほど確保しました。分野別では、特に読解と語彙に力を入れました。新聞記事や評論文を読み、分からない言葉はノートにまとめて何度も復習しました。介護の専門用語と日本語の学習を同時に進めることで、実際の授業内容の理解にもつながったと感じています。苦手だった聴解は、日本のニュースやドラマを繰り返し聞き、内容を理解する練習を続けることで少しずつ克服することができました。

勉強を続ける中で、先生方からのアドバイスや励ましの言葉に何度も支えられました。忙しい状況でも努力を続けられたのは、周囲の支えがあったからだと思います。心から感謝しています。また、日本語学習を通して、介護現場でより正確にコミュニケーションが取れるようになったことも、大きな成果だと感じています。

これから N1 を受験する後輩留学生の皆さんへ。介護福祉士の勉強やアルバイトなどで忙しい毎日でも、短い時間を積み重ねることが大切です。目標を明確にし、自分のペースを大事にしながら、最後まであきらめずに挑戦してください。